

日刊 動労千葉

81.12.8
No.915

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六（公衆）〇五五（宅）七二〇七

公判闘争に決起

12.10 「津田沼デッチあげ告訴」事件

エイト闘争貫徹！「国鉄35万人体制」粉碎！

「本部」反動分子の警察労働運動を弾劾する！
 全ての組合員の皆さん、12月10日、「6.12事件」デッチあげ告訴のオ2回公判闘争が開始される。この公判には、デッチあげ告訴の張本人「革マル斉藤吉司」が検察側証人として出廷する。そればかりか、権力の弾圧を尻押しするために大量の組合員を引きまわそうとしている。

前代未聞！ 異例の大量動員で、検察権力を激励・尻押し！

「81年3月」の歴史的なストライキに對して当局の手先がこたえてスト破りを行った動労本部「革マル反動分子」はその不正義性と路線的破綻の危機ゆえに、遂に「6月12日」デッチあげ告訴で労働者の逮捕弾圧を警察に任のみこむまでに転落した。そして今日では、同盟総評指導部の最も忠実な番犬を買って出て、闘う労働者を襲い、総評を右翼的に解体する火女になり下がっている。

11月30日、動労本部「革マル」の顔と見える渡辺千古（弁護士）が、千葉地裁に對し「動労本部」は、オ2回公判において、検察側と検察側証人「斉藤吉司」を防御するために200～300名の動員部隊を裁判所に入れたい」と申し入れた。何と！あけすけな一体化ぶりか！

スト承知しながら、ゆが動労千葉が闘うが故に弾圧をかけている権力、又、どうであるが故に、何の立証もできえない検察権力、——その権力の側についてなんとしても、有罪攻撃をしかせよう。全関東中から大量動員「ま」でかけて権力を激励し、防衛と有罪要請をするというこの腐敗しきった集団を、満天下に明らかにし、動労千葉一三〇〇の総力を挙げて、弾劾し、粉碎しなければならぬ。

動揺・消耗する千葉本部
 この醜悪な「告訴路線」、加えて検察側証人「革マル斉藤吉司」一人を出廷させるために200～300名も、外人部隊を動員するという現実を前に、デッチあげ「千葉地本」いわゆる「本部」派の組合員は、今、大動揺し、消耗し、いや

誰が正義で、誰が不正義か
 事実を証言する！



デッチあげ告訴

身ぶり手ぶりの自作自演で「現場検証」をデッチ上げる革マル「嶋田、斉藤と船橋警察」
 （一九八一・七・八早朝）

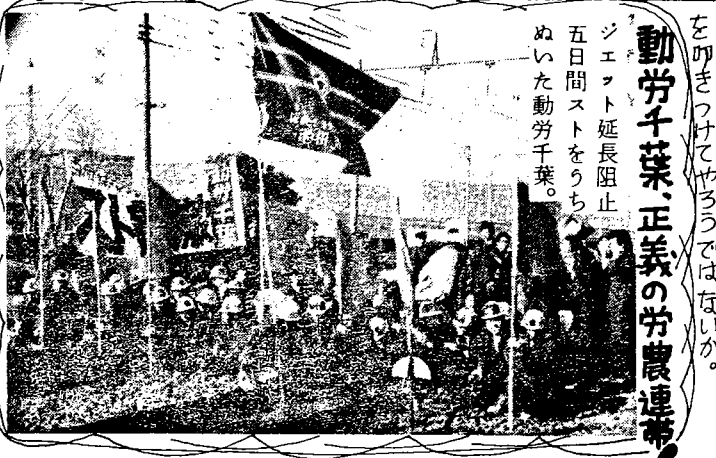


79「4.17」 機動隊に守られ、白屋公然と津田沼支部を武装襲撃！

公安機動隊に守られて、助役機関士線見スト破り列車を運転する動労「本部」佐倉土屋粹一派（一九八一・二・二四）



スト破り！



動労千葉、正義の労働運動
 ジェット延長阻止
 五日間ストをうちぬいた動労千葉。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！